

新潟連協 退職者の会

春夏秋冬

2025 年 7 月 1 日 第 44 号

J P 労組新潟連協退職者の会
〒951-8799 新潟市中央区東堀通
七番町 1018 新潟中郵便局内
発行責任者 会 長 山田 太郎



新潟連協退職者の会 第 3 回幹事会 開催

6 月 11 日、第 3 回連協幹事会を新潟市万代市民会館において、11 名の出席により開催しました。

牧副会長を座長に選出後、山田会長より①組織状況と会員拡大の現状、②直近の政治情勢と参議院選挙の最終盤の闘い、③戦後 80 年核兵器廃絶の署名の取り組み、④郵政グループの不祥事案の考え方について挨拶を受けました。

議事では報告事項として 4 月 1 日現在の組織状況とみらい研の加入状況の確認、協議事項は各支部

選出幹事から会員拡大の取り組み報告、第 27 回参議院選挙「小沢まさひと」最終盤の具体的行動、連協退職者の会第 11 回総会概要、2025 年度活動計画案及び予算案等について審議を行い、周知事項では支部交付金の配賦の考え方や今後の日程等について意思疎通をはかった上で意見交換を行いました。

結びに山田会長より参議院選挙勝利に向け、改めて意識統一を行い、幹事会を打ち上げました。終了後は親睦と交流をはかりました。

～ 連協退職者の会 第 3 回幹事会 議題 ～

<報告事項>

- 1 活動報告
- 2 信越地方退職者の会第 2 回幹事会概要
- 3 連協退職者の会組織状況
- 4 みらい研加入者数・加入率

<協議事項>

- 1 会員拡大の取り組み
- 2 「小沢まさひと」選挙最終盤の行動
- 3 連協退職者の会第 11 回総会概要
- 4 2025 年度活動計画案
- 5 2025 年度予算案

<周知事項>

- 1 支部交付金の配賦
- 2 信越地方退職者の会第 11 回総会参加対応
- 3 新潟県退職者連合第 33 回定期大会参加対応
- 4 今後の日程

連協退職者の会組織状況

連協退職者の会の組織数は、2014 年結成時の 2,493 名から 2025 年 4 月 1 日現在 1,798 名と△695 名(△27.9%)となっており、2024 年 4 月 1 日からは△65 名となりました。

一方、新規拡大は現役支部との連携により、4・5 月期で 47 名拡大し、例年よりも好調な出だしとなっています。

支 部	2024/4/1	2025/4/1現在			2024/4/1 ↓ 2025/4/1	(参考) 4/2以降の 新規拡大数
	正会員数	正会員計	(会費免除・再掲)	(女性・再掲)	増減	
新 潟	234	231	(65)	(82)	-3	6
佐 渡	68	62	(7)	(9)	-6	0
下 越	230	219	(24)	(35)	-11	2
新 津	198	192	(19)	(27)	-6	5
西蒲原	118	114	(19)	(28)	-4	5
三 条	112	106	(19)	(18)	-6	3
中 越	388	378	(49)	(41)	-10	13
魚 沼	168	161	(12)	(15)	-7	6
上 越	347	335	(27)	(31)	-12	7
計	1,863	1,798	(241)	(286)	-65	47

“小沢まさひと” Information Garden



プロフィール

- ・ 1965年 山梨県甲府市に生まれる
- ・ 1984年 横浜市戸塚郵便局入局
- ・ 2017年 日本郵政グループ労働組合 中央副執行委員長
- ・ 2019年 第25回参議院議員選挙にて 初当選
- ・ 2025年 総務委員会、憲法審査会 東日本大震災復興特別委員長

「投票に行ってきたよ！」コール

連協退職者の会では期日前投票期間内に投票を済ませるという「投票に行ってきたよ！」コール運動を展開します。

期日前投票会場が遠い、また少ないことや開設期間が短い、不明などの意見もあり、その声には一定理解するところです。しかし、投開票日当日に天候悪化による暴風雨や体調不良なども考えられ、貴重な一票をみすみす失うことになりかねません。

別途、各支部より開設会場や期間をお知らせします。何卒、ご理解の上、支部担当者へ「投票に行ってきたよ！」のコールをお願いいたします。

“小沢まさひと” 参議院選挙 闘いは最終盤へ！

2024 年 10 月施行された第 50 回衆議院選挙では与党は過半数割れとなりましたが、国民は収まる様相もない物価高や議論が頓挫している政治改革など、現政権に辟易としており、「野党中心の政権に交代」の国民世論が半数に迫っています。参議院においても与党過半数割れに追い込まなければなりません。

私たち連協退職者の会は2年間にわたり、第27回参議院選挙におけるJP労組組織内“小沢まさひと”議員の再選に向け、全力をあげ取り組んできました。小沢参議院議員はJP労組や退職者の会にとっては勿論のこと、働く者の代表としても、立憲民主党にとってもなくてはならない議員です。

この間、積み上げた後援会票を確実に票にするため、電話作戦や公選はがき、期日前投票などを行います。何卒、最後までのご支援をお願いいたします。

《小沢まさひと個人演説会の開催》

7 月 8 日 (火)

新潟市万代市民会館 13:00～

長岡市市立劇場 16:30～

支 部	会員・家族	紹介者	合計	提出率 % (3票/人)	会員 %
新 潟	246	99	345	68.5	80.4
佐 渡	121	73	194	101.0	93.8
下 越	381	315	696	113.7	87.3
新 津	394	154	548	104.4	100.0
西 蒲 原	230	66	296	105.0	113.8
三 条	206	74	280	100.4	100.0
中 越	848	594	1,442	142.6	107.1
魚 沼	323	141	464	102.4	90.1
上 越	719	521	1,240	129.6	100.9
合 計	3,468	2,037	5,505	114.3	97.6

【小沢まさひと後援会加入状況(左表)】

6 月 1 日 (最終集約)、後援会加入総数は 5,505 人、1 人当たり 3 票目標で 100% を達成した支部は佐渡・下越・新津・西蒲原・三条・中越・魚沼・上越の 8 支部、会員 100% を集約した支部は新津・西蒲原・三条・中越・上越の 5 支部となりました。

なお、後援会加入のお礼状を昨年 9 月以降、2,880 通郵送しました。

第1号議案

J P 労組新潟連協退職者の会／第11回総会

2025年度活動計画（案）

はじめに

2024年10月27日に行われた「第50回衆議院選挙」

は全国において自民、公明両党の与党は計215議席に留まり、過半数の233議席を割り込みました。一方、野党他は250議席を獲得し、特に立憲民主党は148議席（50議席増）と伸長しましたが、これは自民党による裏金事件が大きく影響した敵失ともいえ、立憲民主党には政策立案や国会論戦でのイニシアチブが期待されます。

現在の政府与党は国政では米や生活必需品をはじめとした物価高への有効な対策が打てず、更には裏金事件に端を発した政治改革も不十分・不誠実な対応、年金制度改革や選択的夫婦別姓の議論についても、国民不在の党利党略が明らかであり、完全に機能不全に陥っていると言わざるを得ません。また、外交では米国防ランブ大統領によって関税

に係わる問題や格差・分断が強まるなど全世界が混沌の渦に巻き込まれています。

更には、ロシアによるウクライナ侵攻から3年4ヶ月、イスラエルとパレスチナの戦闘から1年8ヶ月が経過しましたが、一向に収束する様相はなく、憂慮すべき事態が続いています。世界では現在、力を背景に一方的な現状変更を迫る動きが広がっており、私たちは強く反対するものです。改めて平和を希求する憲法について理解を深め、考えていく学習会などを企画します。

この状況下で7月20日に「第27回参議院選挙」が施行されます。私たちJ P 労組と退職者の会はJ P 労組第16回定期全国大会(2023.6)で決定した「小沢まさひと」参議院議員の2期目の当選に向け、2年間にわたり取り組みを進めてきました。併せて、新潟選挙区では「打越さくら」参議院

議員が再選に挑みます。重ねて、最後までのご支援をお願いいたします。

さて、2014年にJ P 労組退職者の会組織が結成されて以降、全国的に会員の減少傾向が続いています。J P 労組は会員の減少傾向の歯止めと拡大の一助に向け、第16回定期全国大会において「満60歳を超えて正社員や高齢再雇用社員等で働くすべての組合員を協力会員とする。」旨の規約改定が行われました。2025年度も現役連協・支部と

綿密に連携をはかり、正会員の拡大をはじめ協力会員の把握とフォローを行います。

毎年、記録的な集中豪雨や豪雪、大地震などの自然災害が発生しています。労働運動の原点である「助け合い、支え合い」を深めるため、共済活動・商品の周知や学習会を開催し、加入促進をはかります。退職者の会の活動の基本である親睦と交流や社会参加の機会が広がることを祈念し、以下、2025年度の活動について提案いたします。

新潟連協退職者の会
第11回総会 次第

- ・日時 2025年8月26日(火)
10時30分開会
- ・会場 新潟市中央区「新潟東映ホテル」
- ・議事 1)2024年度活動報告
2)2024年度会計報告
3)会計監査報告
4)第1号議案
2025年度活動計画(案)
5)第2号議案
2025年度予算(案)
6)その他

※ 総会終了後、全体で懇親交流会を開催します。

1 連協退職者の会の組織と具 体的な活動

(1) 連協役員の任期

第11回連協総会で選出された連協役員の任期は、第12回総会までの2年間とします。

(2) 連協幹事会の構成

連協三役4名(会長・副会長2名・事務局長)、支部選出幹事9名、会計監査2名、連協議長(計16名の構成とします。今年度より上越支部の選出幹事を2名から1名とします。

(3) 連協三役会議

連協三役会議を支部代表者会議及び幹事会の前段に開催します。

(4) 連協幹事会及び支部代表者 会議

規約上、連協幹事会は年4回の開催となっていますが、必要に応じ臨時幹事会を開催します。

また、連協全体の意思統一をはかるため、適宜、連協幹事会と合同の支部代表者会議を行います。

(5) 会費徴収の取り組み

今年度も自払いによる会費徴収を連協で行います。名簿の現行化、会費納入会員の管理等、各支部の協力を得て進めます。

(6) サークル活動(ゴルフ大会)

第10回「悠友会」主催のゴルフ大会を2025年10月7日(火)、田上町「湯田上カントリークラブ」で開催します。多くの会員から参加していただけるよう連協退職者の会として大会をサポートします。

(7) 機関紙の発行

機関紙「春夏秋冬」の年4回発行と必要に応じ特集号を発行します。引き続き「長寿で健康 生き生きコーナー」や「作品投稿コーナー」、「支部イベントコーナー」への寄稿

にご協力をお願いします。

2 会員拡大の取り組み

(1) 組織現状

新潟連協退職者の会の組織数は結成当初の2,493名から2025年4月1日現在1,798名と△695名(△27.9%)減少し、2024年4月1日からは△65名となりました。

(2) 3月末退職時の取り組み

3月末の退職時に合わせて正会員の拡大行動を展開します。具体的には、連協幹事会・支部事務局長会議(2026年3月)及び現役との合同会議を開催し、退職情報や具体的な進め方について意思疎通をはかり、3月～5月期を拡大集中期間として取り組みます。

(3) 具体的な活動

具体的な取り組み等については、第1回連協幹事会

の年間執行方針で提起します。

3 J P 共済生協及び福祉活動 への参加

老後が豊かに暮らせる福祉政策の充実を目指すことはもちろんですが、新潟県労働金庫、こくみん共済coop新潟推進本部、コープデリにいがた、新潟県労福協の活動は、地域の助け合い運動の基本となるものです。地域退職者連合と連携し、安心・安全な生活をめざす活動に協力します。

(1) J P 共済生協の取り組み

① 会員相互の扶助活動として、J P 共済生協と協力し会員福祉の充実に努めます。具体的には、支部代表者会議等と併用した学習会を企画します。

② J P 労組信越地本主催の支部共済担当者会議(前期・後期)に参加します。

(2) ろうきんシニア倶楽部との 連携

ろうきんシニア倶楽部への加入呼びかけと併せ、高齢者を対象としたシニア倶楽部主催のセミナー・研修会等へ参加します。

(3) コープデリにいがたとの連携

夕食宅配をはじめ宅配事業の周知等を行います。

(4) 地区労福協運動への参加

県内10カ所ある地区労福協では、高齢者や一人暮らしの方の生活全般にわたる相談事業や生活支援等を行っています。NPOや行政との連携及び対応など、地域退職者連合の仲間と連携し活動に参加します。

(5) 健康年齢を延ばす活動

健康寿命(2024.12厚生労働省発表)は、過去10年間で男女とも2歳前後延びています(男性70.42→72.57/女性73.62→75.45)。「体を動かす」、「頭を使う」、「会話をする」とは、高齢者が

健康を保つための秘訣です。退職者の会の活動や地域の活動に積極的に参加します。

4 政治課題の取り組み

(1) 政治への関心を高める取り組み

私たちの暮らし・生活は、政治と密接につながっており、政治に無関係でも無関心でもいられません。様々な機会を通じ政治意識の高揚に努めます。

(2) 国政選挙の取り組み

解散・総選挙の想定はできませんが、現下の政治情勢もあり最短で「衆参同日選挙」の実施も取り沙汰されています。この間の取り組みと同様、連合地協や地域退職者連合等、各地域の要請に基づき対応します。

2025年7月20日、第27回参議院選挙が施行されます。J P 労組組織内「小沢まさひと」参議院議員と新潟選挙区「打越さくら」参議院

議員の再選に向け、残された行動をすべてやり切ります。

(3) 郵政未来研究会(みらい研)の取り組み

郵政未来研究会はJ P 労組の政治団体です。J P 労組の政策実現に向けた対応や、組合員及び退職者の政治意識の高揚をはかるべく政治学習会等の活動を展開しています。連協全体の加入率25%達成をめざします。

(4) みらい研「政治学習会」

現退合同による政治学習会開催を検討します。

5 退職者連合との連携強化

(1) 新潟県退職者連合との連携

新潟県退職者連合の主催する学習会、各種署名・カンパや平和と民主主義、年金・医療・介護など、社会保障制度の充実をめざした活動に

積極的に参加します。

(2) 地域退職者連合への活動参加

県内11カ所の地域退職者連合へ21名の役員を派遣し地域活動を担っています。地域によって活動内容はさまざまですが、連合新潟の県内各地域協議会や地区労福協との連携を深め、安心して暮らせる豊かな地域づくりに協力します。



2025年度 J P 労組新潟連協退職者の会 予算（案）

(2025年4月1日～2026年3月31日)

(収入の部)		<一般会計>	
項	目	予 算 額	摘 要
繰 越	金	1,967,598	
会 費		3,841,000	1,510名×2,500円+44名×1,500円
雑 収 入		1,164	利子
合 計		5,809,762	
(支出の部)			
項	目	予 算 額	摘 要
支 部 費		1,510,000	1,510名×1,000円
慶 弔 費		777,000	1,554名（1,510名+44名）×500円
総 会 費		70,000	J P 労組一般会計以外の経費
幹 事 会 費		150,000	三役会議、幹事会補助等
会 議 費		530,000	支部代表者会議等
地 域 活 動 費		250,000	地域退職者連合等地域活動経費
組 織 関 係 費		500,000	支部総会、打合せ会、会計監査等
情 報 関 係 費		440,000	機関紙 4 回(印刷費及び送料等)
教 育 文 化 費		20,000	連協サークル活動補助等
事 務 費		350,000	消耗品費、通信費、事務費、振込手数料等
自 払 手 数 料		107,250	ゆうちょ自払手数料（1,510名×55円） +BIZ料金（月1,100円×2ヶ月+月2,200円×10ヶ月）
支 部 交 付 金		556,200	支部定額（9 支部×10,000円）+会費納入人員（1,554名×300円）
予 備 費		549,312	
合 計		5,809,762	

※ 連協総会費及び連協幹事会費（年 4 回）は J P 労組一般会計より措置されます。

(収入の部)		<組織慶弔会計>	
項	目	予 算 額	摘 要
繰 越	金	1,596,003	(寄付金 2,871,344円)
会 費		777,000	1,554名（1,510名+44名）×500円
雑 収 入		1,167	利子
合 計		2,374,170	
(支出の部)			
項	目	予 算 額	摘 要
喜寿祝い給付金		555,000	111名（該当者）×5,000円
香 典 給 付 金		500,000	100名×5,000円
事 務 経 費		105,500	211件×600円、現金書留料金
組織慶弔制度安定基金		0	2025年度から停止
繰 越	金	1,213,670	次年度繰越
合 計		2,374,170	

[2025年度信越地方組織慶弔制度安定会計]（新潟連協分）

繰越金	600,000	収 入	0	支 出	0	繰越額	600,000
-----	---------	-----	---	-----	---	-----	---------

(収入の部)		<共済交付金特別会計>	
項	目	予 算 額	摘 要
共 済 交 付 金		500,000	J P 共済生協本部
インセンティブ		50,000	JP共済信越地方部(新規加入)
合 計		550,000	
(支出の部)			
項	目	予 算 額	摘 要
支 部 交 付 金		449,500	会員数1,798名×250円
インセンティブ		50,000	支部交付
連 協 支 出 金		50,500	支部代表者会議、振込手数料等
合 計		550,000	

長寿で健康 生き生きコーナー



高齢者の元気の源は常に動くなり！

下越支部退職者の会 会長 渡辺 公平（79歳）

私も今年中に80歳になる。私は『80歳になった』ではなく『やっと80歳になるか』と発想を変える事にしています。

地域活動ではお寺の檀家総代理、各種統計調査員、交通安全協会町内選出の役員として児童の登校時に交差点に立ち、学校まで送って児童の安全を見守っています。

村上地域でも高齢化が進み、高齢化率も高くなっています。昨年は町内の老人クラブの会長になったばかりなのに、今年になり村上地区の会長職が飛び込み断るすべもなく就任してしまいました。老人クラブの会員の減少とともに、クラブも大幅に減少し、解散するクラブも増えました。会長を引き受ける人がいないのが最大の理由のようです。

私達の退職者の会をはじめ老人クラブの会員が増えないのは勤め人の退職年齢が延長されたところに起因しているようですが、所詮、年寄の集まりは

『仲間作り』『健康確認』が出来れば良いと考えています。

健康寿命を延ばすため、村上ブロックではペンタク協会に加盟して、毎週木曜日に練習し、地域の大会にも参加しており、今では常に上位入賞出来るところまで成長しています。

老人クラブの基本方針である『健康』『友愛』『奉仕』を退職者の会でも同様な方針で望んでいるので会員拡大が進んで行く事を願っています。最後に私の長寿寿命、健康寿命の源は、今のところ頭の中以外は悪い所も無いので出来る限り奉仕の精神で地域の中で頑張っている事だと思っています。

要は頼まれれば断れない悪い精神が元気の源になっているようです。

※「ペンタク」ってなに？
目標球に金属性のボールを投げ合って、相手のボールより近づけることで得点を競うというゲーム。日本では40万人以上がプレーしている。



JPトピックス

J P 労組は2月17日、日本郵政グループ主要4社に対し「2025春季生活闘争要求書」を提出。以降、3月13日の回答日に向け、全国の各職場で署名活動を取り組み、中央交渉をバックアップした。中央本部では昼夜を問わず交渉を展開し、特に経済要求では民営郵政となつて以来、最大のベア3.12%（定昇込み5.0%）という結果となった。「大幅賃上げ」の社会情勢にあったが、厳しい事業環境の中、大きな成果を勝ち得たことは評価できるものである。

《経済要求の最終回答》

1. 定期昇給実施（基準内賃金1.88%改善に相当）
2. 正社員の基準内賃金
社員一人あたり10,000円（基準内賃金3.12%改善に相当）のベア実施
☆ 全社員一律で一人あたり基本給5,000円の改善
☆ 残りの財源で一般職の賃金改善および地域基幹職・総合職等の若年層を中心とした賃金改善
3. 正社員の一時金 … 日本郵政・日本郵便・かんぽ生命保険：4.3月
… ゆうちょ銀行：4.4月
4. 月給制契約社員の賃金改善：社員一人あたり基本給5,000円の改善
5. 時給制契約社員の処遇改善：「社員持株会」の入会資格を見直し、アソシエイト社員を加入対象とする

《事業を持続させていくための労働力確保等》（略）

《安心して働き続けることができる環境整備等》（略）

樂、スポーツ・ファッション、居酒屋など多くのものが生活の必需品となった。高度経済成長期を経て、オイルショックが起こったが、日本産業の転換もはかられ、バブル時代にいわれる超好景気時代に突入したものの、実態がなくなってきた。

◆そして、失われた30年の平成から令和の現在に至っている。今後、想像もできない国難が起こるかも知れない。しかし、どの様な時代になろうとも国をつくっていくのは国民に他ならない。

◆国民が生き生きとした暮らしができる礎は「平和」。初当選から一貫して「平和」を希求し、国会で議論を重ねている「小沢まさひと」議員の勝利が必要不可欠であると改めて思う。

《敬称略》